

新入職員オリエンテーション

認知症サポーターと共同組織を学ぶ

(1面からつづく)

新たに作り組んだ企画

初企画の「HPH（健康増進活動拠点病院・ヘルスプロモーションホスピタル）の取り組み紹介」と、「認知症サポーター」の講義を実施しました。

近年、高齢者や認知症の方が増える中、地域とともに健康づくりや、やさしい街づくりとはどうすればいいのかを、考えるきっかけをつくる時間となりました。参加者からは「地域に根差した医療機

関の一員として、理解を深め認知

症になっても支えていく人達、サポーターがたくさんいる社会になるよう、後輩を増やしたい「知識がなかった時の自分の対応を振り返り、考える事ができた。否定せず相手の言葉を大切にしたい」などの感想が寄せられました。

また、地域とのつながりを実感できる毎年恒例の「共同組織体験」では、各支部であたたかく出迎え。たまり場での日々の活動を知り、友の会の方と直接お話しすることが出来る、貴重な体験となりました。



訪問活動を体験

「友の家」で交流

認知症サポーターのオレンジリング

オリエンテーション後は、職場に配属された勤務がスタートします。新しい環境で、不安や悩みも出てくると思いますが、同期の仲間との「つながり」を大切に、民医連・同仁会の職員として、大きな成長を期待していきます。

同仁会グループCS研修会

信頼される職員になるために

今回は講師による院内ラウンドも実施

午前中、接遇講師による院内ラウンドを実施。対象事業所は耳原総合病院（外来・病棟）でした。

講師からの評価は「全体としては、できています。できているからこそ、もう一歩踏み込んだ対応をしていきたいと思います。スタッフの温度差を感じました。組織としてのギャップをなくして、共通の意

識を持ちましよう」とのご指摘をいただきました。

午後の講義では同仁会の理念・方針を確認し、医療人として良好なコミュニケーションを促す行動・環境設定などを学びました。

後半は具体的な事例に基づき、他職種でさまざまな意見を出し合い、対応策を考えることができない。一つずつ階段を上がって

した。参加者の感想からは「常に、法人の一員として働いている意識を持ちながら、励んでいきたい」「ただ単に丁寧な言葉・態度だけではなく、そこに気持ちを乗せていくことを意識したい」などありました。

講師からの「接遇にはゴールはない。一つずつ階段を上がって

きましよう。



耳原総合病院で、患者さんに紛れてラウンドする接遇講師の2人（白い矢印）



背後から声をかける時の動作を教わる



チャレンジポイント（ポケットのペンやハサミ）

◎グッドポイント

- ・言葉遣い
- ・居心地が良い明るさ
- ・清掃が行き届いている
- ・スタッフ同士の挨拶
- ・患者さんへの微笑み
- ・目線を合わせた対応
- ・整理整頓ができています

△チャレンジポイント

- ・私語に見えてしまう会話（スタッフ同士の無駄話）
- ・患者さんへの声かけ（親しい方とそうでない方のギャップ）
- ・1階公衆電話の横にメモがない
- ・病棟でご意見箱のペンがない
- ・患者さんの前を素通り
- ・ポケットにペンを入れすぎない（ハサミは入れない）

熊本地震

被災者救援募金

にご協力をお願いします!!

4月14日21時26分頃に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震は、熊本県益城町で震度7を観測しました。

この地震で熊本県を中心に家屋の倒壊などにより、多数の死傷者がでています。その後も最大震度6強の余震が相次いで発生しています。

同仁会（耳原）では、全日本民医連と連帯し被災地の救援・復興のための支援に全力をあげていきます。

救援募金に、ぜひご協力をお願いします。



避難所での活動の様子（4月19～22日支援チームの森事務長撮影）

シリーズ 現場からの視点

その14

4月からの診療報酬改定

2016年4月からの診療報酬改定により「かかりつけ薬剤師制度」が始まりました。かかりつけ薬局の中から、患者さんのトータルサポートをする、専任薬剤師を指名できるようにになります。ただし薬局での勤務経験や勤務時間、認定薬剤師の資格等の条件を持った薬剤師としか、患者さんと契約を交わすことができません。

かかりつけ薬剤師について

みなさんは、かかりつけの薬局をお持ちでしょうか、かかりつけの薬局ならご自身の使用されている医療機関からの処方薬や市販薬について、一元的・継続的に管理し、薬の重複や相互作用を防止できます。患者さんお一人お一人の薬の使用記録を残しておくことで、

- 過去の副作用の有無について確認でき、薬を安全に使用できます。
- 飲み残しや飲み忘れが無いように薬物治療をサポートし、薬量を減らせます。

かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師を持ちましよう

- 薬のことはもちろん、健康食品や介護用品などの相談にものってまいります。
- 在宅療養中の方には、ご自宅にお伺いして、薬剤管理・服薬指導を行います。いざというとき、困ったときは休日・夜間でも相談を受けられます。
- 窓口負担や処方量が変更することも…
- お薬手帳を忘れずに!!

- ①通常の薬剤服用歴管理指導にかかりつけ薬剤師加算がかかります。3割負担の方なら60円負担となります。
 - ②薬局に行くときはお薬手帳を忘れず持参し、飲み合わせや重複確認してもらいましょう。お薬手帳を忘れてしまうと代金が負担割合によって10円～40円高くなります。
 - ③もう一つ今回大きく変わったのは、使いきれずに無駄になるのを防ぐためとして湿布の一回の処方できる枚数が特別な理由（医学上の必要があると医師が判断した場合）がない限り70枚に制限されました。湿布が2種類の場合併せて70枚の制限となります。
- ご不明な点など、各薬局窓口でお問合せください。
（熊本県保健医療研究所 森本代表取締役）